

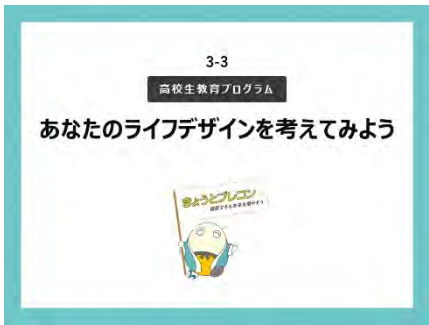
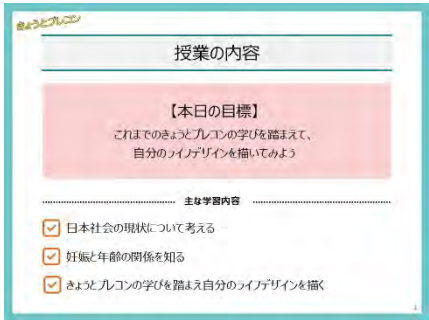
3-3 「あなたのライフデザインを考えてみよう」

教員用プログラム

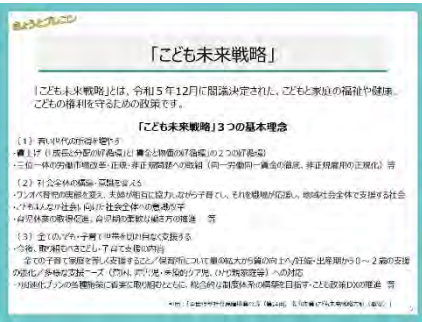
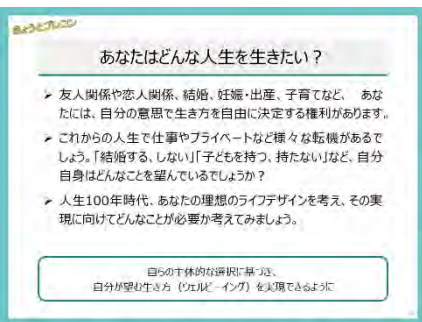
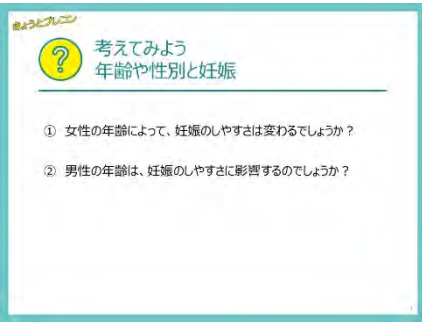
1. 各スライドの指導上の留意点

学習目標

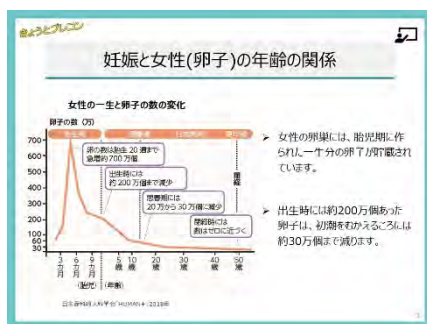
これまでのきょうとプレコンの学びを踏まえて、自分のライフデザインを描いてみよう

段階	授業の展開	指導上の留意点
導入	<p>1. 授業のねらいや全体像を知る</p> <p>・表紙</p>  <p>・スライド1</p> 	<p>○これまでのプレコンセプションケアの学習を踏まえて、生徒自身が主体となってライフデザインを考えます。</p> <p>必要に応じて、プログラム1-1～3-2 の学習内容を参照しながら、補足説明を行いましょう。</p> <p>【プレコンの 4 つの到達目標と関連するプログラム】</p> <p>到達目標① 正確な情報を持ち判断できる</p> <p>➡・プログラム1-2「思春期のからだと変化」</p> <p>・プログラム2-2「妊娠と避妊のしくみ」</p> <p>・プログラム3-2「あなたの健康とプレコンセプションケア」</p> <p>・プログラム3-3「あなたのライフデザインを考えてみよう」</p> <p>到達目標② 他者と自分の双方の心身・性を大切にできる</p> <p>➡・プログラム 2-1「からだの尊厳と暴力」</p> <p>・プログラム2-3「より安全な性行動」</p> <p>・プログラム 3-1「あなたの健康と対人スキル」</p> <p>到達目標③ 性の多様性・個別性・平等性を尊重できる</p> <p>➡・プログラム1-3「ジェンダー平等と性の多様性」</p> <p>到達目標④ 頼れる人や場所(機関)が複数ある</p> <p>➡・プログラム1-2「思春期のからだと変化」</p> <p>・プログラム1-3「ジェンダー平等と性の多様性」</p> <p>・プログラム 2-1「からだの尊厳と暴力」</p>

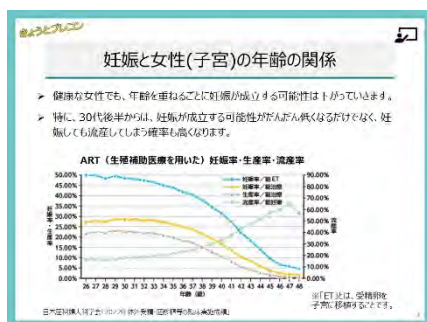
		<ul style="list-style-type: none">・プログラム2-2「妊娠と避妊のしくみ」・プログラム2-3「より安全な性行動」																																										
展開	<p>2. 資料を通して日本の現状を知る</p> <p>・スライド2</p> <div><p>日本の将来は良くなる？</p><p>「自分の国の将来についてどう思っていますか。」の質問に対し、「良くなる」回答率が高い順に掲載 ※各国 n=1000</p><table border="1"><thead><tr><th>国</th><th>良くなる</th><th>悪くなる</th><th>変わらない</th><th>どうなるかわからない</th><th>2019年 日本国政府の将来予測 (悪くなる)</th></tr></thead><tbody><tr><td>中国 (n=1000)</td><td>90.5</td><td>8.5</td><td>1.4</td><td>0.0</td><td>56.2%</td></tr><tr><td>インド (n=1000)</td><td>76.7</td><td>21.5</td><td>1.8</td><td>0.0</td><td>76.5%</td></tr><tr><td>イギリス (n=1000)</td><td>59.0</td><td>31.5</td><td>10.5</td><td>1.5</td><td>29.3%</td></tr><tr><td>アメリカ (n=1000)</td><td>48.1</td><td>27.5</td><td>14.0</td><td>21.4</td><td>30.2%</td></tr><tr><td>韓国 (n=1000)</td><td>44.0</td><td>20.5</td><td>10.5</td><td>25.0</td><td>22.0%</td></tr><tr><td>日本 (n=1000)</td><td>22.0</td><td>35.1</td><td>20.5</td><td>22.4</td><td>9.6%</td></tr></tbody></table><p>日本国政府「社会経済動向調査」(2019年)を基に作成 (2022年)</p></div> <p>・スライド3</p> <div><p>日本の婚姻率</p><p>婚姻率(%)の推移 (1950年～2020年)</p><p>婚姻率は減少傾向</p></div> <p>・スライド4</p> <div><p>男女別に見た年収区分別の未婚率</p><p>(1) 男性 (30代有配偶者) (2) 女性 (30代有配偶者)</p><p>2022年、2017年、2012年の未婚率の推移</p><p>若い世代が結婚・子育ての将来展望を描けない可能性がある</p></div>	国	良くなる	悪くなる	変わらない	どうなるかわからない	2019年 日本国政府の将来予測 (悪くなる)	中国 (n=1000)	90.5	8.5	1.4	0.0	56.2%	インド (n=1000)	76.7	21.5	1.8	0.0	76.5%	イギリス (n=1000)	59.0	31.5	10.5	1.5	29.3%	アメリカ (n=1000)	48.1	27.5	14.0	21.4	30.2%	韓国 (n=1000)	44.0	20.5	10.5	25.0	22.0%	日本 (n=1000)	22.0	35.1	20.5	22.4	9.6%	<p>○ライフデザインを具体的に考えるために、これまでの学習内容に加えて、本時では現代日本社会の現状についてもデータや資料をもとに確認します。</p> <p>生徒の状況を見ながら、各グラフから読み取れることを生徒から挙げてもらったり、グループに分かれて各グラフから読み取ったことをもとに意見交換をしたりするなどして進行してください。</p> <p>○自国の将来についての国際比較</p> <ul style="list-style-type: none">・まずは自国の将来について、希望を持っているかどうかを聞いた、国別比較のグラフを提示します。「希望を持っている」と回答した18歳の割合が、日本は他国に比べて低いことが示されています。・ただ、2019年の回答と2022年の回答を比較すると、日本の将来は「良くなる」と答えた割合は増加しています。・他国に比べて低いことと、増加していることの要因は、スライド2のデータのみでは分析することが難しいですが、同年代の意見として考えられる理由を、生徒たちで話し合ってみるのも良いでしょう。 <p>○日本の婚姻率</p> <ul style="list-style-type: none">・スライド3のグラフを見ながら、近年日本の婚姻率が下がっていることを確認します。・また、スライド4のグラフを見ながら、年収が結婚という選択にも影響を及ぼす可能性があることを確認します。・なぜ婚姻率が減少傾向にあるかなどを意見交換してみてください。
国	良くなる	悪くなる	変わらない	どうなるかわからない	2019年 日本国政府の将来予測 (悪くなる)																																							
中国 (n=1000)	90.5	8.5	1.4	0.0	56.2%																																							
インド (n=1000)	76.7	21.5	1.8	0.0	76.5%																																							
イギリス (n=1000)	59.0	31.5	10.5	1.5	29.3%																																							
アメリカ (n=1000)	48.1	27.5	14.0	21.4	30.2%																																							
韓国 (n=1000)	44.0	20.5	10.5	25.0	22.0%																																							
日本 (n=1000)	22.0	35.1	20.5	22.4	9.6%																																							

	<p>・スライド5</p> 	<p>○国の動き「こども未来戦略」</p> <p>・「こども未来戦略」とは、令和5年12月に閣議決定された、こどもと家庭の福祉や健康、こどもの権利を守るための政策です。</p> <p>・「こども未来戦略」では、3つの基本理念が掲げられています。先に提示したグラフと照らし合わせ、こうした国の動きがあることも押さえます。</p>
	<p>・スライド6</p> 	<p>○自分のライフデザインを考える</p> <p>・こうした社会の現状を押さえたうえで、自分のライフデザインをどう描くかを問いかけます。</p> <p>・また、希望するライフデザインを実現させるには、どんなことが必要かを考えます。</p> <p>○『結婚する、しない』の決定は自由であることを前提として話を進める等の留意が必要です。</p> <p>なお、2025年現在、日本では同性婚が認められていないため、自分のセクシュアリティ等の理由から結婚したくてもできない将来をイメージする生徒がいる可能性もあります。ここでは同性婚を認める・認めないという制度上の内容を論じるのではなく、自分のライフデザインとしての結婚の選択は自由であることを確認します。</p>
	<p>3. 年齢や性別と妊娠の関係を考える</p> <p>・スライド7</p> 	<p>○ここからは、プレコンセプションケアにより引き付けて、ライフデザインを考える準備として、以下の内容を問いかけます。</p> <p>【考えてみよう】年齢や性別と妊娠</p> <p>①女性の年齢によって、妊娠のしやすさは変わるでしょうか？</p> <p>②男性の年齢は、妊娠のしやすさに影響するのでしょうか？</p>

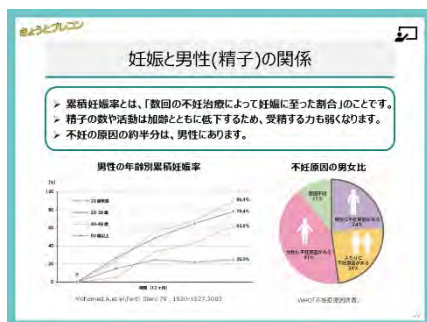
・スライド8



・スライド9



・スライド 10



○スライド8では、年齢とともに妊娠しにくくなっていくことを確認します。

女性の卵子は、胎児のときに作られ、生まれたときは約200万個の卵子を持っていますが、年齢を重ねるにつれてその数は減っていきます。

思春期に排卵が始まりますが、その後、年齢を重ねるごとに古い卵子を排卵していくため、年齢が高くなるほど、受精卵が作られにくい卵子ということになります。

○スライド9では、妊娠と年齢の関係を伝えます。

体外受精などの生殖補助医療(ART)を用いた場合の妊娠率、出産率、流産率のグラフを見ながら、年齢とともに、妊娠率・出産率は減少し、その一方で流産率が上昇していることを確認します。

・妊娠率…生殖補助医療(ART)で妊娠した割合

・生産率…胎児が生きて産まれる割合

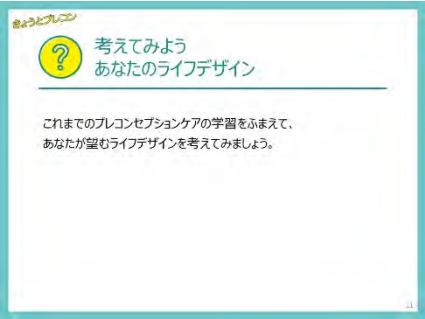

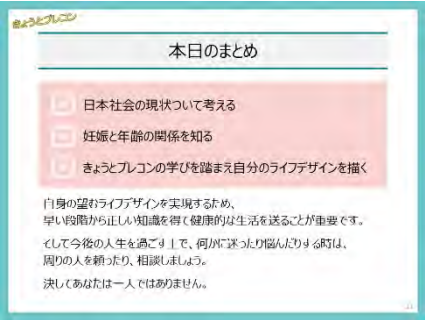
・流産率…生殖補助医療(ART)で妊娠した人のうち流産する割合

※グラフ内に出てくる「ET」とは胚移植のことで、体外受精の後、受精卵を体内(子宮内)に移すことを指します。

○20代では、2回に1回は生殖補助医療(ART)での妊娠に成功しますが、年齢が高くなるに従って、受精卵が作られても、妊娠をする確率が減っていきます。

○スライド10では、妊娠したいと思っていてもなかなか妊娠しない状態(不妊)の原因は女性だけではなく、男性にも半分程度の原因があることを伝えます。

男性の不妊の主な原因は、精子の数や活動量の減少だと言われています。妊娠や不妊は女性だけの問題ではないことを理解し、男性も女性も妊娠を主体的に考える機会とします。

	<p>4. きょうとプレコンの学習を踏まえてライフデザインを考える</p> <p>・スライド11</p>  <p>・スライド12</p> 	<p>○現代日本の社会状況や、妊娠のしやすさと年齢との関係を踏まえて、ライフデザインを考えます。</p> <p>【考えてみよう】あなたのライフデザイン</p> <p>これまでのプレコンセプションケアの学習をふまえて、あなたが望むライフデザインを考えてみましょう。</p> <p>○ライフデザインを考えるサポートツールとして、京都府の以下の Web サイトもご活用ください。</p> <p>【参考】「ライフデザインワークショップ 人生年表ワークシート」(京都府)</p> <p>https://www.pref.kyoto.jp/shoshi/lifedesignlabo.html</p> <p>【参考】「きょうとライフデザインシミュレーション」(京都府子育てピアサポートセンター)</p> <p>https://kyoto-kosodatepia.jp/lifedesign/</p> <p>○もっとプレコンセプションケアやライフデザインについて考えたい生徒に向けて、参考資料を提示しましょう。</p>
<p>まとめ</p>	<p>5. 本時の振り返り</p> <p>・スライド13</p> 	<p>○生徒が望む将来を描き、実現するための一つの視点としてプレコンセプションケアについて学習しました。</p> <p>こどもを産むか産まないかの選択に関わらず、健康に留意した生活を送ることは大切です。</p> <p>プレコンセプションケア以外にも、ライフデザインを考える際にはさまざまな要素が絡み合い、多くの選択を迫られると思います。</p> <p>困ったときには、信頼できる情報を得たり、適切な相談先に相談したりすることは、プレコンセプションケアの学びと共通して大切なことですので、繰り返し伝えましょう。</p>

2. スライドに掲載される主な参考資料

＊スライド掲載順に記載。教員用プログラムのみに記載されている項目は(教プロ)と記載。

・スライド2

「18 歳意識調査『第 46 回-国や社会に対する意識(6 カ国調査)-』(日本財団、2022 年)

https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey

・スライド3

「人口動態総覧の年次推移」「令和3年(2021)人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省 Web サイト)

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai21/index.html>

・スライド4

「経済財政白書(令和 5 年度版)」第 2 章 家計の所得向上と少子化傾向の反転に向けた課題(内閣府、令和5年8月)

<https://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je23/index.pdf.html>

・スライド5

「全世代型社会保障構築会議(第 14 回)議事次第」こども未来戦略方針(概要)」(内閣官房 Web サイト、令和5年10月4日)

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/zensedai_hosyo/dai14/gijisidai.html

・スライド8

「加齢と妊娠のリスク」『女と男のディクショナリー HUMAN+』(日本産科婦人科学会、2018 年、P66)

<https://www.jsog.or.jp/citizen/5735/>

・スライド9

「2022 年体外受精・胚移植等の臨床実施成績(ART データブック)」(日本産科婦人科学会、2022 年)

<https://www.jsog.or.jp/medical/641/>

・スライド10

Mohamed A. M. H., et al, (2003). Effect of male age on fertility: evidence for the decline in male fertility with increasing age. Fertil Steril. 2003 Jun;79 , Suppl 3:1520-7. doi: 10.1016/s0015-0282(03)00366-2.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/12801554/>

・スライド10

WHO「7273 カップルの不妊症原因調査」(1996) 参考:日本生殖医学会. 不妊症 Q&A Q4

きょうとプレコン 高校生教育プログラム

・スライド12

「ライフデザインワークショップ 人生年表ワークシート」(京都府)

<https://www.pref.kyoto.jp/shoshi/lifedesignlabo.html>

・スライド12

「きょうとライフデザインシミュレーション」(京都府子育てピアサポートセンター)

<https://kyoto-kosodatepia.jp/lifedesign/>